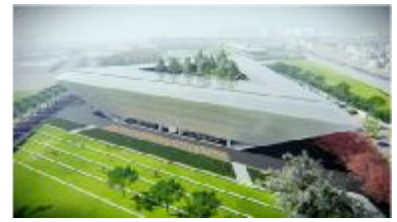


# CASBEE<sup>®</sup> - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	追手門学院新キャンパス新築工事大学	階数	地上5F
建設地	大阪府茨木市太田東芝町400番6	構造	SRC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	3,770 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2019年9月12日
敷地面積	64,415 m <sup>2</sup>	作成者	三菱地所設計
建築面積	6,753 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	20,150 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.3

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.6

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.0

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<p>広大な敷地に対して、教室群を分散させずまとめて配置をしました。それによって、建設資源の低減や空調効率の向上を企図しています。さらにオープンスペースも広くとれることにより、街に対して潤いのある緑地や広場を設けることができます。</p>		
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>すべての教室に開口部を設けることができ、昼光の明るさを十分に利用できるように形態としています。建物外周部に大きく庇を張り出しキャストパネルで覆うことで、直射日光による夏季の熱環境を向上させています。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>大学用途として十分な階高と天井高さを設け、教室ごとに適した平面形状の学習環境を計画しました。コア形状を統一し、バランスよく配置したことにより、維持管理のしやすい計画となりました。</p>	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <p>建物を前面道路から大きくセットバックさせ、緑地を多くとれるような配置計画としました。広場や通過動線を確保し、地域住民へも快適な室外環境を提供します。どの方向からでも大学棟が象徴的に見えることで、街の景</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>2F~5Fの外装には、ステンレス製のキャストパネルを採用し、すだれのような効果をもたせ建物外皮への熱負荷を低減させます。庇を大きく張り出すことで、さらに効果を高めています。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>点対称な形状としていることにより、コンクリート型枠などの建築資材の転用性を高めることにより、無駄なく施工できるように配慮しています。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>必要不可欠な歩行動線以外の部分については、極力緑化を施すことによりヒートアイランド現象の低減へ貢献しています。緑地を多く確保した上、舗装材には透水性インターロッキングブロックを採用し、地域の排水路への負担を軽減しています。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0075

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

<b>【建物概要】</b>		建物名称	追手門学院新キャンパス新築工事 大学棟					
		建設地	大阪府茨木市太田東芝町400番6					
		用途/区分	学校					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					3		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
<b>【評価項目】</b>								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.0	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3.0	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				4.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.1		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.4		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				4.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								